

株主メモ	
証券コード	3048
上場証券取引所	東京証券取引所（市場第一部）
事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
上記基準日	毎年8月31日
配当金受領株主確定日	毎年8月31日 （ただし、中間配当を行う場合は2月末日）
株式の売買単位	1株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
株式事務に関するお問合せ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324（フリーダイヤル） http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告の掲載方法	当社ホームページ (http://www.biccamera.co.jp/ir/library/index4.html) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、日本経 済新聞に掲載します。

インターネットでもショッピングを
お楽しみいただけます。

ビックカメラ.com

<http://www.biccamera.com/>

ビックカメラ
東京都豊島区高田三丁目23番23号

株 主 優 待 情 報



※左記のインターネットショッピングサイト「ビックカメラ .com」でもご利用いただけます。

ご優待内容

当社店舗でご利用いただける株主様お買物優待券を、毎年8月31日現在の当社株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主様に対し、年1回贈呈いたします。

贈呈基準

ご所有株式数	ご優待金額
1株以上5株未満	3,000円（1,000円券 3枚）
5株以上10株未満	5,000円（1,000円券 5枚）
10株以上100株未満	10,000円（1,000円券 10枚）
100株以上	50,000円（1,000円券 50枚）

2. 保有期間に応じた株主優待

毎年8月及び2月末日の当社株主名簿及び実質株主名簿に、連続3回以上同一株主番号にて、記載又は記録された株主様を対象とし、毎年8月31日現在の株主様に対し「上記1」の株主優待に加え、長期保有株主様向け株主優待制度として、以下の基準にて「長期保有株主様お買物優待券」を追加贈呈いたします。

保有期間	贈呈内容
1年以上2年未満継続保有（1株以上） （半期ベースで連続3・4回株主名簿に記載された場合）	1,000円 （1,000円券 1枚）
2年以上継続保有（1株以上） （半期ベースで連続5回以上株主名簿に記載された場合）	2,000円 （1,000円券 2枚）

有効期限

12月1日より翌年11月30日まで。
* 株主様お買物優待券の発送は11月下旬を予定しております。



第28期
報 告 書
2007年9月1日～2008年8月31日



新宿西口店

Business Report



池袋本店


ビックカメラ
証券コード:3048

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素のご支援、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当社は今年5月、創業30周年を迎え、また、6月には東京証券取引所市場第一部に上場することができました。これもひとえに、株主の皆様のご支援、ご愛顧の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。これからも、尚一層、「都市型モデル」の強みを活かして、企業価値の向上に努めてまいる所存でございます。

さて、2008年8月決算期におきましては、堅調に推移したビックカメラ既存店に加え、「ビックカメラJR京都駅店」、「ビックカメラ岡山駅前店」、「ビックカメラ・ベスト広島店」、株式会社ソフマップの秋葉原地区売上増により、当連結会計年度の売上高は6,048億4百万円（前期比11.5%増）となりました。営業利益、経常利益については、新規出店・リニューアルオープンに伴う諸費用、日本BS放送株式会社の放送開始に伴う経費負担があり営業利益は154億96百万円（前期比3.2%減）、経常利益は161億64百万円（前期比7.4%減）となりました。また、匿名組合清算配当金49億20百万円を特別利益として計上、投資有価証券評価損31億76百万円、貸倒引当金繰入額15億6百万円、減損損失28億61百万円を特別損失として計上した結果、当期純利益は41億12百万円（前期比49.5%減）となりました。

また一方で、本年4月には、省エネ家電の普及推進等のこ

れまでの環境問題への積極的な取り組みが評価され、環境省の環境先進企業認定制度「エコ・ファースト制度」の第1号企業として認定されました。

当社は、引き続き社会貢献と業績向上の両立を目指し、環境配慮企業のトップランナーとして社会的な責任を果たしつつ、創業以来の経営理念である「お客様第一主義」に磨きをかけ、新たな目標の「連結売上高8,000億円、連結売上高経常利益率4.0%」の早期達成に向け、邁進してまいります。

今後とも、ビックカメラにご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2008年11月



代表取締役社長 宮嶋 宏幸

ビックカメラ企業行動憲章(要約)

ビックカメラは、人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守するとともに、社会的良識をもって、「お客様第一主義を実践し、最高のサービスをお客様に提供することで社会に貢献する」との経営理念のもと、「一人ひとりのお客様を大切に、最高の満足と喜びを感じていただけるよう、笑顔と真心を込めた言葉で接します」をスローガンに、「より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」を目指して活動を続けてまいります。

また、環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動してまいります。

当報告書よりさらに詳しいIR情報はこちらから



ビックカメラ IR 検索

<http://www.biccamera.co.jp/ir/index.html>

当社株主・投資家向サイトでは決算短信、IRニュース、財務情報など、様々な情報を発信しております。

CONTENTS

- P2 株主の皆様へ
- P3～6 財務諸表
- P7 店舗展開
- P8 CSRへの取り組み
- P9 トピックス
- P10 会社概要／株式の状況
- 裏表紙 株主メモ／株主優待情報

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

科 目	当期	前期
	2008年8月31日現在	2007年8月31日現在
資産の部		
流動資産	101,404	97,101
現金及び預金	21,129	24,485
受取手形及び売掛金	18,891	14,780
たな卸資産	42,367	36,121
繰延税金資産	6,172	5,533
未収入金	—	13,313
その他	12,878	2,905
貸倒引当金	△33	△39
固定資産	134,327	104,736
有形固定資産	65,776	45,570
無形固定資産	16,265	5,119
投資その他の資産	52,285	54,047
繰延資産	192	—
資産合計	235,924	201,838

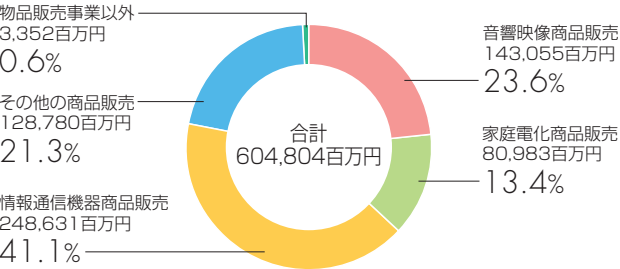
(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2008年8月31日現在	2007年8月31日現在
負債の部		
流動負債	127,890	116,164
固定負債	44,871	33,199
負債合計	172,761	149,363
純資産の部		
株主資本	62,021	47,617
資本金	18,402	12,548
資本剰余金	17,976	12,122
利益剰余金	25,643	22,947
評価・換算差額等	△1,212	2,669
少数株主持分	2,353	2,187
純資産合計	63,163	52,474
負債純資産合計	235,924	201,838

連結損益計算書(要旨)

科 目	当期	前期
	自 2007年9月 1日 至 2008年8月31日	自 2006年9月 1日 至 2007年8月31日
売上高	604,804	542,294
売上原価	459,672	411,552
売上総利益	145,131	130,742
販売費及び一般管理費	129,634	114,739
営業利益	15,496	16,002
営業外収益	3,392	3,873
営業外費用	2,725	2,427
経常利益	16,164	17,448
特別利益	5,267	1,780
特別損失	8,238	3,382
税金等調整前当期純利益	13,192	15,847
法人税、住民税及び事業税	9,479	8,143
法人税等調整額	△138	△761
少数株主損失又は少数株主利益 (△)	260	△319
当期純利益	4,112	8,146

品目別売上高



品目別売上高は、物品販売事業のうち音楽映像商品については、大画面薄型テレビ、ブルーレイディスクレコーダーの販売が好調に推移し、売上高は 1,430億55百万円（前期比14.0%増）となりました。

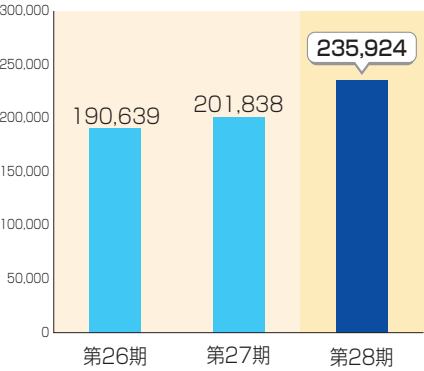
家庭電化商品については、エアコン等季節家電、冷蔵庫、電子レンジ等調理家電が好調に推移し、売上高は 809億83百万円（前期比13.8%増）となりました。

情報通信機器商品については、携帯電話が好調に推移、パソコン本体、パソコンソフト及びその周辺機器が堅調に推移し、売上高は 2,486億31百万円（前期比11.5%増）となりました。

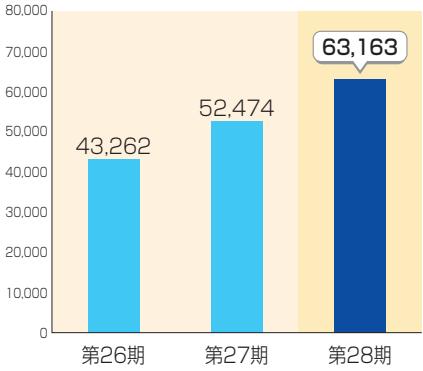
その他の商品については、ゲーム、時計、中古売上が堅調に推移し、売上高は 1,287億80百万円（前期比6.5%増）となりました。

物品販売事業以外のその他の事業については、連結子会社である日本BS放送株式会社の売上高が13億8百万円増加したことにより、売上高は33億52百万円（前期比90.7%増）となりました。

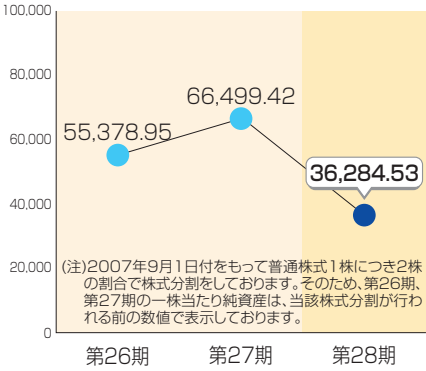
総資産(百万円)



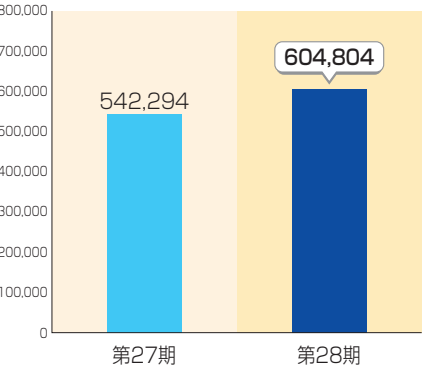
純資産(百万円)



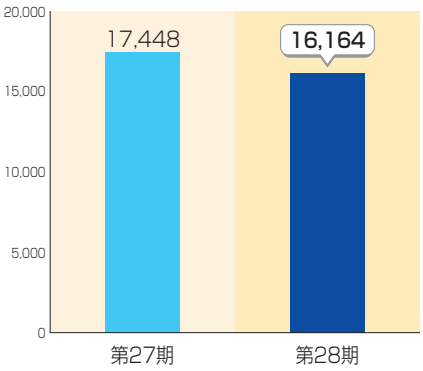
一株当たり純資産(円)



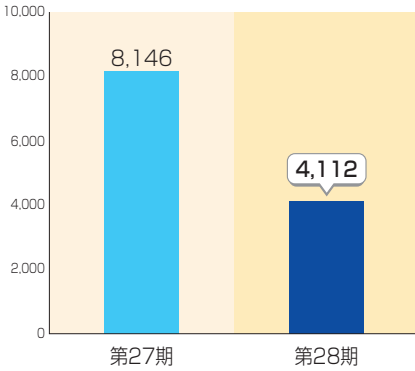
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			(単位：百万円)
科 目	当期 自 2007年9月 1日 至 2008年8月31日	前期 自 2006年9月 1日 至 2007年8月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,259	7,136	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,488	△13,702	
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,369	△4,703	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△4	
現金及び現金同等物の増減額	△2,895	△11,275	
現金及び現金同等物の期首残高	22,012	33,108	
合併による現金及び現金同等物の増加額	—	158	
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	319	19	
現金及び現金同等物の期末残高	19,435	22,012	

■営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は62億59百万円（前連結会計年度は71億36百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加34億62百万円、たな卸資産の増加62億37百万円、法人税等の支払額88億21百万円があったものの、税金等調整前当期純利益131億92百万円、減価償却費24億96百万円、減損損失28億61百万円、投資有価証券評価損31億76百万円を計上し、貸倒引当金の増加14億99百万円があったことによるものであります。

■投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は394億88百万円（前連結会計年度は137億2百万円の支出）となりました。これは主に保証金の返還による収入33億17百万円、匿名組合の清算配当による収入49億20百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出271億72百万円、無形固定資産の取得による支出122億29百万円、投資有価証券の取得による支出94億88百万円があったことによるものであります。

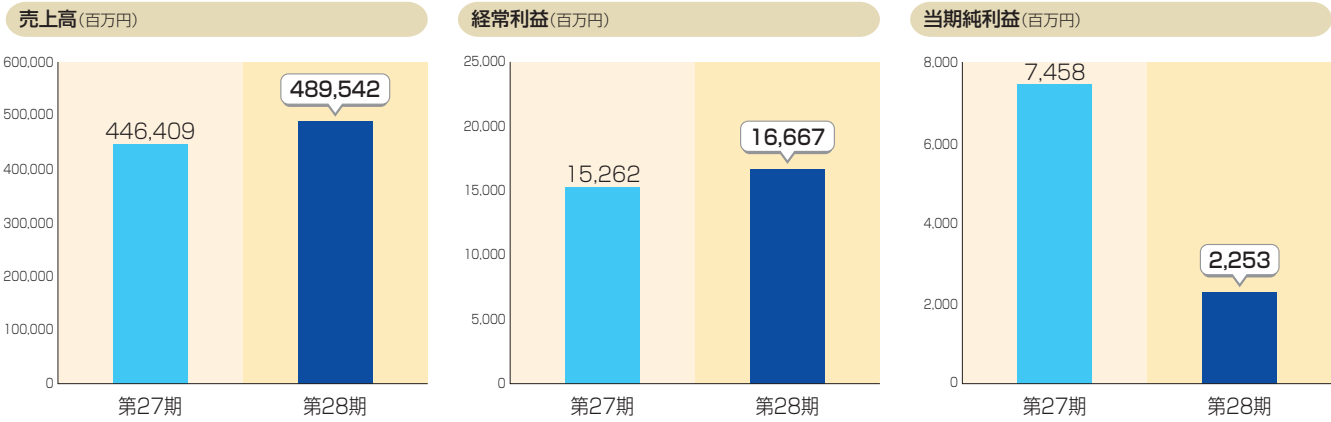
■財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は303億69百万円（前連結会計年度は47億3百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純増加37億54百万円、長期借入金の借入れ（収入と支出の差額）167億97百万円、株式の発行による収入116億49百万円によるものであります。

連結株主資本等変動計算書(自 2007年9月1日 至 2008年8月31日)								(単位：百万円)
	株主資本				評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金			
2007年8月31日残高	12,548	12,122	22,947	47,617	2,669	2,187	52,474	
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	5,854	5,854	—	11,708	—	—	11,708	
剰余金の配当	—	—	△1,134	△1,134	—	—	△1,134	
当期純利益	—	—	4,112	4,112	—	—	4,112	
新規連結による剰余金の増加高	—	—	△281	△281	—	—	△281	
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	△3,882	166	△3,716	
連結会計年度中の変動額合計	5,854	5,854	2,696	14,404	△3,882	166	10,688	
2008年8月31日残高	18,402	17,976	25,643	62,021	△1,212	2,353	63,163	

単体財務諸表

単体貸借対照表(要旨)			(単位：百万円)
科 目	当期 2008年8月31日現在	前期 2007年8月31日現在	
資産の部			
流動資産	78,946	73,597	
固定資産	122,602	98,246	
資産合計	201,549	171,844	
負債の部			
流動負債	104,030	96,524	
固定負債	38,347	25,094	
負債合計	142,377	121,618	
純資産の部			
株主資本	60,383	47,555	
資本金	18,402	12,548	
資本剰余金	17,976	12,122	
利益剰余金	24,004	22,885	
評価・換算差額等	△1,211	2,670	
純資産合計	59,172	50,225	
負債純資産合計	201,549	171,844	



単体損益計算書(要旨)			(単位：百万円)
科 目	当期 自 2007年9月 1日 至 2008年8月31日	前期 自 2006年9月 1日 至 2007年8月31日	
売上高	489,542	446,409	
売上原価	369,822	337,956	
売上総利益	119,720	108,452	
販売費及び一般管理費	104,248	95,162	
営業利益	15,472	13,290	
営業外収益	3,650	3,947	
営業外費用	2,454	1,975	
経常利益	16,667	15,262	
特別利益	4,983	1,782	
特別損失	10,447	2,859	
税引前当期純利益	11,204	14,185	
法人税、住民税及び事業税	8,998	7,493	
法人税等調整額	△48	△765	
当期純利益	2,253	7,458	

当社では「都市型」×「駅前」×「大型」をコンセプトに
店舗を出店いたしております。



2008年11月 ビックカメラ浜松店をオープン

静岡県最大の人口を有し政令指定都市である浜松市のJ R浜松駅西側高架下に、浜松駅西開発計画で新たに建設された商業施設「メイワンビックカメラ館」に出店しました。

【所在地】浜松市中区砂山町【面積】約4,500㎡

2010年春 ビックカメラ鹿児島中央駅店(仮称)をオープン予定

2010年春を目処に、南九州の中核都市で2004年の九州新幹線開業以降成長の著しい鹿児島市のJ R九州鹿児島中央駅への出店を予定しています。同駅2階改札前でコンコースに直結しており、利便性が高い出店場所です。

【所在地】鹿児島市中央町【面積】約5,500㎡

2009年2月 ビックカメラ新潟駅ビル店(仮称)をオープン予定

2009年2月を目処に、日本海側唯一の政令指定都市で、県庁所在地でもある新潟市のJ R新潟駅南口に、新たに建設される新潟駅南口ビル(仮称)に約10,600㎡の大型店を出店します。

【所在地】新潟市中央区花園【面積】約10,600㎡



環境対策のトップランナー企業として「エコ・ファーストの約束」を主題に、積極的に環境活動を推進してまいります。

当社全店舗で2008年8月12日より 使用済み携帯電話・PHSの回収・ リサイクル開始



当社全店舗において、「エコ・ファーストの約束」の一環として、希少金属の回収と不正使用防止を目的に、使用済み携帯電話の回収およびリサイクルを2008年8月12日より実施しております。

2008年8月24日には、千葉マリンスタジアムで開催された千葉ロッテマリーンズの公式戦を「ビックカメラサマーチャレンジ2008!」と称して、二酸化炭素(CO₂)削減に関連したイベント「ビックカメラスペシャルナイターみんなでCO₂削減チャレンジ宣言」を開催しました。また、2008年11月8日には、「日産スタジアムJ1リーグ戦 横浜F・マリノスvs京都サンガF.C.」において、横浜F・マリノス、日産自動車、チーム・マイナス6%とのエココラボイベント「みんなで、エコ・チャレンジ!」を開催しました。それぞれの会場にて使用済み携帯電話・PHSの回収のキャンペーンを実施しました。



省エネ製品販売、エコ展示の実施について



当社では、「エコ・ファーストの約束」の一環として、地球温暖化防止に寄与する省エネ型製品普及促進のため、当社指定薄型テレビ・冷蔵庫・エアコンで省エネ性能の優れた製品をご購入いただいたお客様に、「エコ・ファースト ポイントアップキャンペーン」としてビックポイントのアップを実施しております。

また、当社は、「環境報告書2007.10.25」で、CO₂排出原単位(店舗面積当)を2010年までに2006年対比で4%削減する目標を設定し、CO₂削減目標達成に向けて、売場照明、エアコンの温度、エスカレーター・エレベーターの運転、店外装飾照明の点消灯等でのきめ細かな節電、ショッピングバッグの使用削減、ゴミの分別についてきめ細かなルールを策定し店舗でのCO₂排出削減および資源の節減に努めています。

新たな取り組みとして薄型テレビの展示台数の約30%を常時電源オフとし、接客における必要時のみに電源を入れる「エコ展示」を全店で実施しています。



さらなる成長に向けて、 積極的な事業活動に取り組んでまいります。

2008年6月10日 東京証券取引所市場第一部に上場

当社株式は、2006年8月10日にジャスダック証券取引所に上場し、2008年6月10日に東京証券取引所市場第一部へ上場いたしました。

今後も皆様方のご期待にお応えすべく、企業価値の向上を目指します。

※なお、現在は東京証券取引所市場第一部でのみ売買可能です。



株式会社ベスト電器との業務・資本提携関係の強化および、 持分法適用関連会社化について



株式会社ベスト電器福岡本店

2007年9月20日付で業務・資本提携契約を締結した株式会社ベスト電器と、さらなる提携効果を一層加速し、早期拡大を図るため、株式会社ベスト電器株式を追加取得し、持分法適用関連会社化することといたしました。

業務提携のこれまでの取り組み

- ①修理センター・機能の相互利用
- ②物流ネットワーク・サービスの相互利用
- ③オリジナル商品の共同開発
- ④人材の相互交流
- ⑤店舗運営ノウハウの共有
(2008年3月にビックカメラ・ベスト広島店開店)

今後の取り組み

- ①人材の相互交流（取締役の相互派遣等）
- ②共同運営店舗の拡大
- ③ポイントカードシステムの共有化



会社概要

会社名	株式会社ビックカメラ
設立年月日	1980年11月
資本金	18,402百万円
従業員数	4,172名
本社	東京都豊島区高田三丁目23番23号
主な事業内容	カメラ、パソコン、OA機器、ビジュアル製品、オーディオ、通信機器、家電製品、時計・宝飾、メガネ・コンタクト、うもうふとん、酒、ギフト用品、玩具、スポーツ用品、スポーツサイクル等の販売

取締役及び監査役 (2008年11月27日現在)

代表取締役会長	新井隆二
取締役副会長	妹尾喜三郎
代表取締役社長	宮嶋宏幸
常務取締役	金澤正晃
常務取締役	塚本智明
常務取締役	堀越雄雄
常務取締役	湯本善之
常務取締役	嶋田史雄
取締役	目時剛
取締役	野口進
取締役	曾我邦夫
取締役	加藤周二
取締役	川村仁志
社外取締役	児島仁
社外取締役	有田龍郎
社外取締役	生井俊重
社外取締役	麻田祐司
常勤監査役	伊藤秀行
社外監査役	小松英士郎
社外監査役	岸本裕紀子

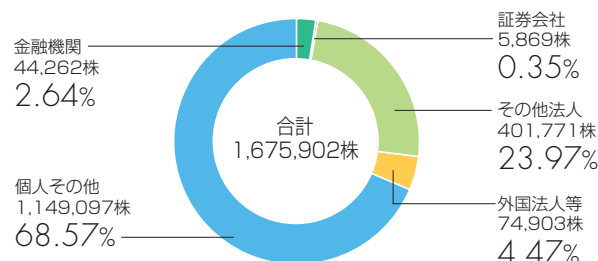
株式の状況

●発行可能株式総数	5,082,000株
●発行済株式の総数	1,675,902株
●株主数	54,299名

大株主

株主名	持株数(株)
新井隆二	818,368
株式会社ラ・ホールディングス	196,615
株式会社東京放送	61,190
株式会社エディオン	45,372
富士ソフト株式会社	26,996

所有者別株式分布状況



所有株数別分布状況

